

「F1ドライバー」を目指して。

「F1レーサー」を夢見て自動車科に入学、。在学中にカートの世界で全日本を制覇した2006年自動車科卒業の『井口卓人君（柳南中出身）』。彼はその後、厳しい選考基準があるトヨタの支援を受け、日本および世界で活躍出来るドライバーを育てている、フォーミュラトヨタレーシングスクール（FTRS）で活躍している。彼は今、更なる飛躍



を夢見て2006年を戦っていた。彼は2006シーズンの富士スピードウェイで開催された最終レースに参戦していた。「観客数：29,200人」、日本人ドライバーに限らず、世界各国の優秀なドライバーが参戦している「トヨタ・ヤング・ドライバーズ・プログラム（TDP）」の激戦を戦い抜き、優秀ドライバー3人衆と言われるまでに成長していた。彼は今、時速270km/hの

世界でトヨタのマシンを操り戦っている。

ちなみに、FTでチャンピオン、もしくはそれに宿敵する結果を残した者には、更に「全日本F3選手権」やヨーロッパで開催される「フォーミュラ・ルノー」への参戦が支援される。明日と言う約束を許されないレーサーへの厳しい道程。しかし、数々の難関を乗り越え、2007年も「TDP」の一員としての契約を結ぶことが出来たのです。この後、「フォーミュラトヨタ」と「フォーミュラチャレンジジャパン」に参戦する彼から『今年が勝負の年なので気合いを入れて頑張ります』という、頼もしいメールが自動車科に届きました。

『井口卓人君』彼はカートの世界からF1の世界へ確かにギヤチェンジして、確実にステップアップしながら自分の夢へと突き進んでいます。自動車科は彼の活躍を応援しています。

注意：フォーミュラ・トヨタ（FT）マシン解説

エンジンやシャシ、タイヤのみならず主要パーツの殆どがワンメイクされているレースである。



使用されるエンジンは、4AGEエンジンの5バルブバージョン、直列4気筒の1600ccである。最大出力170psにも達し、ドライバーを含めた車両の最低重量は560kgと軽い。時速270km/hで争われる競技である。